



新年のご挨拶

国家公務員共済組合連合会 名城病院長 後藤 秀実

新年明けましておめでとうございます。

COVID-19 感染が拡大しておりますが、皆様方にはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は COVID-19 感染で振り回された年でありました。第一波の際には高校野球の中止、相撲の無観客試合、小学校・中学校・高校の休校要請など国民が今まで経験していないことが起こりました。さらに「緊急事態宣言」が発令され、最終的には日本だけでなく世界中が楽しみにしておりましたオリンピック・パラリンピックも1年延期となり、昨年は永遠に忘れられない年となってしまいました。しかも、この COVID-19 感染は7月から8月にかけて第二波が、11月からはさらに厳しい第三波が襲ってきて、日本各地で医療崩壊寸前になっております。

その一方で、飲食業界や観光業界は厳しく、政府はその対策として Go to Travel や Go to Eat などを出し経済の立て直しを図ろうとしましたが、それが逆に感染拡大をもたらした一因と考えられ、一時中止となっています。その他の

要因として、長期間の行動自粛から生じた気のゆるみ、また冬と言う気候も考えられます。現在全世界が期待し、既に英国・米国で実施され始めましたワクチン接種の日本での開始が待たれます。とは言え、まだ接種までの時間がかかりますので、その間の対応について述べさせていただきます。

既に皆様方各自が感染対策や3密の回避はなされていると思いますが、再度の徹底をお願いさせていただきます。もし発熱などの感冒用症状がございましたら、当院の発熱外来を受診してください。当院では発熱患者専用のテントと診察室にて感染を注意しながら診察をさせていただきます。また、3台のPCRやCOVID-19抗原定性検査などにて感染の有無を診断し、その結果は午前中の患者さんはその日のうちに、午後の患者さんでも翌日の午前中にお知らせしています。

特効薬のないコロナ感染症では、早期に発見して対応することが重要と考えておりますので、気軽に当院へご相談頂きたいと思っております。

最後に本年も皆様方のご健康に当院がお役に立てることを願っています。



呼吸器内科

馬嶋 俊

呼吸器内科主任医長

新型コロナウイルス感染症に関する豆知識

2020年に世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)ですが、名古屋市内も日常生活に大きな影響を及ぼしました。COVID-19は感染力が強く、怖い病気ですので、病気を正しく理解し対策を十分に立てることが重要と考えます。COVID-19の感染経路は、主に接触感染、飛沫感染です。感染予防には手洗い・消毒、マスク着用、3密対策などです。これを読まれている方の中で「聞いたことある話ばかりだな」と感じている方もいらっしゃると思いますが、私が伝えたいことは、これらの対策が如何に十分に、持続的にできているか?ということです。例えばマスクですが、鼻を出した状態では効果は減りますし、マスクの表面を触ってれば手が汚染されるリスクになります。また不特定多数の人が集

まる場所には、会場の換気状況の確認や長時間の滞在を避けるなどの心構えが必要です。COVID-19の主な症状は37.5度以上の発熱と咳です。また味覚障害や嗅覚障害も起こることがあります。しかし症状だけでは、風邪やインフルエンザと見分ける事は困難です。発熱などが生じた際は、慌てずにまずはかかりつけ医など地域の医療機関に相談(電話など)してください。名城病院では、発熱外来や発熱患者専用テント設置などを行い、通常診療の患者さんと発熱患者さんが交わらないよう感染対策を徹底しております。来院される患者さんには是非安心して当院を受診していただきたく存じます。

最後に、今年の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



検査部

池崎 幸司

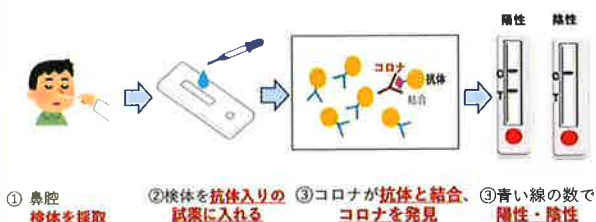
検査部技師長

新型コロナウイルス感染症の検査について

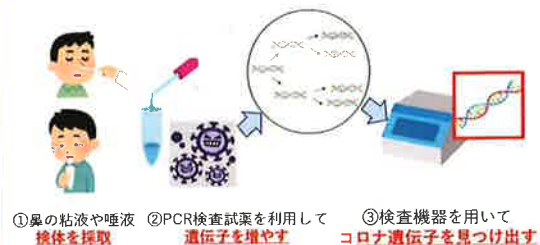
当院では、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症診断のために、抗原定性検査とPCR検査を採用しております。今回はその検査の特徴と判断についてお話ししたいと思います。まず抗原定性検査は、ウイルスが持つ特有のタンパク質を検出する検査方法です。PCR検査に比べ検出率は劣りますが、簡易診断キットを使い30～40分程で結果が出ます。検査対象者は発症2日～9日目の症状が有る方の確定診断に用いるため無症状の方には使用でき

ません。PCR検査は特異的な遺伝子配列を増幅して検出する検査方法です。増幅回数により感度が高く信頼性も上がるため検査に60～90分かかります。少ないウイルス量でも検出できるため唾液での検査や、無症状の方でも検査できることが長所ですが、専用機器と熟練した検査技師が必要で高コストなことが短所です。当院では、それぞれの長所と短所を把握し、医師の判断にて適切な検査を実施しています。

【抗原検査】：ウイルス自体のタンパク質を検査



【PCR検査】：ウイルス遺伝子の有無を検査





米原久美子
リハビリテーション部
リハビリテーション部室長

家庭で実践！ 健康体操

リハビリテーション部は、理学療法士13名、作業療法士3名、言語聴覚士1名、受付2名、補助1名(2021年1月現在)で主に入院中の患者さんに対してリハビリテーションを提供致しております。リハビリテーションの内容は、医師の指示のもと心臓疾患、呼吸器疾患、脊椎疾患や脳血管疾患それぞれに合わせて行っています。

心臓疾患、呼吸器疾患等の内部疾患に対しましては、筋力トレーニングやエアロバイクを使用し全身の持久力運動等を行っております。脊椎疾患に対しましては、脚のストレッチ、手先の細かい動作練習や、正しい歩き方、背骨へ負担のかからないような生活動作の指導等を行っております。脳血管疾患に

対しましては、座る、立つ、歩くといった基本的な動作の獲得から、書字練習、食事動作や入浴動作練習、発声や嚥下の練習等も行っております。そして、退院時にはご家庭でできる運動指導も行っております。

これからも、まだまだ寒い日が続きます。また、感染拡大予防のためにご家庭で過ごす時間が多くなり運動不足を感じる方もいらっしゃるかと思います。そこで、リハビリテーション部からご家庭で簡単にできる運動をご紹介しますので、ぜひご家庭で体操を行い、心身ともに健康な体作りを心掛け明るい春を迎えましょう。

なお、持病のある方は主治医に確認した上で体操を行って下さい。



① 太ももの体操

左右交互に10回ずつ行います

椅子に深く腰掛けて
背もたれにもたれます。

片方の膝を伸ばした状態で
5秒間静止させます。



② ふくらはぎの体操

10回行います

足を肩幅に開いて立ち、
椅子や壁などに軽くつかまります。

3秒かけて両足で背伸びをします。
3秒かけてかかとを下ろします。



③ おしりから脚全体の体操

10回行います

腕を胸の前に組み
足を肩幅に開いて立ちます。

ゆっくり腰を落とすように
両膝を曲げていきます。

支えなしで立てない場合は、
椅子や壁などにつかまって行って下さい。



2021年これからの感染症対策

あわあわゴッシーの
手洗いアニメーション



藤岡江里 看護師
感染制御管理部 感染対策室

2020年は新型コロナウイルスの世界的パンデミックが発生し、現在も第3波の山を乗り越えようと様々な対策がとられています。新型コロナウイルスは人と人の接触や咳やくしゃみなどの飛沫を吸い込むことによって感染します。

感染対策として重要なのは「人と人の距離を保つこと」と「手を清潔にすること」です。もちろん「マスクを適切に装着すること」も大切ですが、「手の清潔」が一番大切です。

何故ならばウイルスが付着した手で【目や鼻を触る】【食物を触って食べる】ことで体内にウイルスが流入し感染しやすくなるからです。

これからの感染症対策として、帰宅時や食事前の手洗い、病院やスーパーなど人の多い



場所での手洗いや手の消毒をお勧めします。

手の消毒は、消毒薬を手全体に擦りこむようにすることで消毒効果が上がるので、塗るのではなく擦りこむ事に注意しましょう。名城病院の出入口にも消毒用のアルコール製剤を設置しております。病院に来院した時や帰宅する時は必ず手を消毒しましょう。



新入職医師紹介



消化器内科

梶川 豪 医師

かじかわ こう

消化器内科医長
(令和3年1月入職)

宜しくお願ひいたします

本年1月より名城病院にて消化器内科医師として勤務します梶川豪です。消化器には、食道、胃、小腸、大腸の消化管と肝臓、胆道、膵臓があり、その各臓器に多くの疾患が認められます。それ故、皆様にお会いする機会も多いと思いますので、その際には何でもご相談ください。皆様の健康に少しでもお役に立てればと願っています。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

編集
後記

2021年初めの「わ」は新型コロナウイルス感染症についての特集をさせていただきました。昨年は年始から感染症の拡大、自粛などの活動制限が続き心労が絶えない日々でした。今年もまだまだ油断できない日々が続くかと思われませんが、今回紹介した感染症対策を実施していただいたり、家庭でも可能な運動でリフレッシュしていただき、少しでも心穏やかに健康に毎日を過ごせるよう願っております。



<http://www.meijohosp.jp/>

名城病院診療等のごあんない



診療受付時間

新患 午前 8:30 ~ 11:30

再来 午前 8:00 ~ 11:30



休診日

土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)



・時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しください。

・人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

☎052-201-5311 FAX 052-201-5318